
令和 7 年 度

事業報告書

社会福祉法人育美会
花の人の家

令和7年度事業報告

総評

入居数は年間を通して満床を維持できた。入居者の健康管理に関しては感染症も出たが、きちんと対応できた。今後も各セクション間の情報共有をさらに進めていき、迅速に問題に対応できるチーム作りを行っていく。

研修は人材が不足していた為に充分に参加する事が出来なかったが、老施協の研修で花の人の家の見学が行われ、学ぶ機会の多い研修になった。

令和6年度より開催している3施設合同の文化祭は前回よりもスムーズに行うことができ、好評を得ているので今後も継続していく。

年間行事も滞りなく行うことができた。入居者の年齢差があり、すべての人に満足していただく内容にしていく事が課題になるが、これからも入居者が楽しめる内容を模索していく。

今年度の入居は10名、退去は11名であった。例年と比べると少ない人数だが、部門間で話し合い、良い形で次に繋げることができた。

1. 接遇基本方針

大きなトラブルもなく過ごしていただけた。販売する日常生活用品の見直しを行った。買い物ドライブの参加者が増え、1便増やすことで対応した。元気な入居者が増え、教室を増やす事や外部のコミュニティの紹介など、単調な生活にならない工夫が今後課題となる。

2. 地域との連携

中学生の社会体験授業を受け入れた。また地域の津軽三味線の慰問やピアノの演奏などを受け入れた。また地域イベントに配るお弁当の依頼があり、協力し好評を得た。

3. 医療機関との関わり

訪問診療が入居者にとって継続した体調の維持と安心感を与えている。また近隣の医療機関との連携が出来たことにより施設負担を減らすことが出来た。今後も感染症対応については正確な情報を把握しながらマニュアルを更新し、柔軟に対応できるように整えていく。また、医療と施設の連携強化が進められている。再度必要な措置を取り、協力病院との関係強化を行っていくことが来年度の課題となる。

4. 生活

(1) 食事について

安心、安全な食事を提供することが出来た。行事食も提供し、外出が少ない入居者へ季節感を感じる食事を提供できた。来年度以降は材料費高騰に対応すべく人員配置と業者選定を工夫ながら取り組み、喜ばれる食事を提供していく。

(2) クラブ活動

クラブ活動教室の増室を目標にしていたが達成できなかった。来年度は有料の教室も含め、さらに増やす事を目標にして入居者の生活の充実につなげたい。また施設開催のクラブ活動なども模索していく。

5.行事計画

随時行うことが出来た。入居者にも喜んで頂けた。ホームページに掲載し施設活動をアピールした。

6.会議・委員会

いずれも適宜行うことが出来た。議事録を取り、施設運営に役立てていく。

7.設備修繕・改修・保守

赤い羽根共同募金により、浴室シャワーのボイラー更新工事を行った。圧力が戻り、入浴の満足度が格段に上がった。法令遵守的に問題のあるものに関しては補修を行った。その他安全環境の保持に必要なものに関しても補修を行った。

7.入居者確保

川越市だけでなく近隣の機関からも問い合わせを頂いている。引き続き関係を強化するために受けた案件には前向きに対応していく。また事実調査などはスピード感を上げるため、病院や施設に伺い迅速に入居へ繋げる事が出来ている。さらに加速させられるようにZOOMなどを利用した面談などにも対応できるようにしていきたい。

令和2年度より開設したインスタグラムはフォロワー1,600件を超え、認知度向上に貢献している。

今後はフォロワー獲得にも力を入れながら積極的に活用し、施設の認知度を上げるだけでなく入居や人材の募集などのアピールにも活用していく。